

## ▼エクフィナ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 サフィナミド メシル酸塩 Saffinamide Mesilate 【分類】 パーキンソン病治療剤 [選択的MAO-B阻害剤]

【単位】 ▼50mg/錠

【常用量】 50mg/日 [最大100mg]

【用法】 1日1回

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期CKD患者への投与方法】 PKは影響を受けず常用量 (1) PKは腎機能の影響を受けないため常用量 (Loprete L, et al: Pharmacol Res Perspect 2016 PMID: 27713822)

【特徴】 選択的で可逆的なMAO-B阻害剤。レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病におけるwearing off現象の改善に適用。

【主な副作用・毒性】 幻視、幻覚、傾眠、衝動制御障害、セロトニン症候群、悪性症候群、ジスキネジア、消化器症状、めまい、高血圧など

【安全性に関する情報】

【吸収】 食事の影響を受けない (1)  $ka=0.58/hr$  (1)

【F】 95% (1) ほぼ完全に吸収 (Seithel-Keuth A, et al: Clin Pharmacol Drug Dev 2013 PMID: 27121562)

【tmax】 3.5hr (1)

【代謝】 ほとんど代謝で消失 [代謝物に活性なし] (1) 非特異的細胞質アミダーゼ (主), CYP3A4 [副] により代謝 (1) さらにMAO-A, アルデヒド脱水素酵素が関与 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率4.9%未満 [po] (1) 尿中回収率76% (1) 尿中主要代謝物は脱アミノ体, 脱アルキル体 (Leuratti C, et al: Pharmacology 2013 PMID: 24136086)

【CL】 4.6L/hr [iv] (1)  $CL/F=4.96L/hr$  (Loprete L, et al: Pharmacol Res Perspect 2016 PMID: 27713822)

【t1/2】 24hr (1) 22hr (Marzo A, et al: Pharmacol Res 2004 PMID: 15082032)

【蛋白結合率】 89% (1)

【Vd】 165L/man [iv] (1)  $Vd/F=120L/70kgBW$  (1)  $Vd/F=166L/man$  (Loprete L, et al: Pharmacol Res Perspect 2016 PMID: 27713822)

【MW】 398.45

【透析性】 資料なし (1) 除去率は低いと思われる (5)

【OW係数】 2.4 [1-オクタノール水系] (1)

【相互作用】 神経伝達アミンの作用を増強することから抗うつ薬との併用禁忌 [セロトニン症候群等] (1) 腸管BCRPを阻害 (1) CYP3A4阻害剤の影響を受けない (Krosser S, et al: Biopharm Drug Dispos 2012 PMID: 23097240)

【肝障害患者への投与方法】 重篤な肝障害に禁忌 (1)

【妊婦・授乳婦への投薬】 投与せず, 生殖可能女性には避妊指導 (1)

【主な臨床報告】

【備考】 類似薬エフビー, アジレクト

【更新日】 20230515

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。